

活動名	団体名	広島市立大州小学校カンナプロジェクト
カンナがつなぐ 平和のバトン —カンナプロジェクト—	地域	広島県広島市
	代表者	校長 藤川 照彦
	支援金額	35 万円
活動概要		
<p>被爆後75年間は草木も生えないだろうといわれた広島に、わずか一ヶ月後に咲いたといわれるカンナの花を、自分たちの町に植えることを通して、平和について考え、行動する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>①大州小学校からマツダスタジアムまでの道沿いにカンナの花を植え、「カンナロード」をつくり、世話をする。 ②カンナの球根を育て、増やしていく。 ③平和集会・参観日・平和マラソン・歌などを通して、この活動を広める。</p> <p>◆実施時期 平成25年4月～3年計画 場所:大州小学校・大州街道・マツダスタジアム</p> <p>◆参加人数 活動①147名(日ごろの花の世話を除く) 活動②51名 活動③約400名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:598名</p>		



大州街道をカンナロードにしよう



プランターで広めよう



締めくくりはマツダスタジアム



ひろしま国際平和マラソン

◆実施に伴う効果

- ・児童が、「自分たちにできる平和への活動」として取り組むことができた。
- ・大州小学校の伝統として、先輩から引き継いだものを継続し、広げることができた。
- ・地域の方に、カンナの花のことや、子どもたちの取り組みを理解して頂き、たくさんの協力を得ることができた。

◆苦勞した点

- ・カンナの花のことはまだあまり知られていなかったなので、このプロジェクトの説明をし、賛同してカンナの花を植える許可を頂くまでのプロセスに時間がかかった。
- ・地域の方にご協力頂いた取り組みだったので、予定変更がなかなかきかなかった。
- ・屋外での活動になるため、天候の予測がつかず、大雨の中での取り組みをしたこともあった。
- ・今年度は頂いた予算で土などを購入できたが、来年度もこの取り組みは続くので予算的な問題が残った。
- ・カンナの花が咲くのは一時期なので、枯れた後の様子が気になる。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・カンナロードは3年契約でお願いしてあるので、各場所の花は次の6年生が育て、新しい俳句も考える。
- ・このプロジェクトに賛同してくださる方へ、カンナのプランターを届け、広めていく。
- ・カンナの球根をたくさん育て、地域の方に送り、育ててもらおう。

このような活動を通して、町にカンナの花がたくさん増えていくことを考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

子どもたちはこれまで様々な平和学習をしてきた。その中で「自分たちにできること」も色々と考えてきた。しかし、その多くは「仲良くする」「世界のことを知る」などの観念的なことだった。そこで本校では5年前から「希望の花『カンナ』」を育てることを通して平和を願う気持ちを活動に表してきた。そして今年度、マツダ財団のご協力が頂けることになり、この取り組みを校内だけでなく地域へ発信することができた。単にカンナの花を植えるだけでなく、その背景となった戦争や原爆について調べたり、世界の様子や核兵器について考えたりした。そして、色々な思いを俳句に表し、カンナの花とともに花壇に設置した。また、この取り組みには、地域の様々な方が協力して下さり、一緒に平和について考えることができたように思う。さらに、歌やマラソンなど、取り組みを広げることもできた。これを機会にこの町にカンナの花が増え、大きくなった児童たちが郷土を愛する気持ちと共にカンナの花を見てくれたらと願っている。